

「滋賀医科大学看護学ジャーナル」投稿規定（平成24年9月改訂）

- I 本誌の和文名称は「滋賀医科大学看護学ジャーナル」、英文名称は“Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science” (JN-SUMS)とし、電子ジャーナルとして本学ホームページ上にて公開する。また本学リポジトリに収録し、公開する。発行は原則として1年に1回とする。
- II 本誌発行の目的は次の通りとする。
1. 看護学の学術的な発展に寄与する。
 2. 本学看護学科または本学医学部附属病院看護部に在籍する教職員に研究発表の場を提供するとともに、学際的な共同研究活動を促進する。
 3. 本学の研究・教育活動の成果をひろく社会へ還元する。
- III 掲載される原稿は看護学ならびに看護学に関連する研究領域のもので、次の範囲に含まれるものとする。
1. 投稿原稿は未発表で、かつ二重投稿していないものに限る。
 2. 倫理的配慮がなされており、原稿中にその旨が明記されていること。
 3. 論文の種類は以下の通りである。
 - 1) 原著論文：独創的で新しい知見を含むもの
 - 2) 総説：研究の総括、文献についてまとめたものなど
 - 3) 研究報告：研究として報告し記録にとどめる価値のあるもの
 - 4) 実践報告：看護実践、教育実践、海外視察などの報告についてまとめたもの
 - 5) その他：看護学に関する意見、提言などで紀要編集委員会（以下、委員会とする）が適切と認めたもの
 4. 論文は原則として日本語または英語で作成するものとする。
- IV 投稿資格
1. 本誌の目的に合致し、本学教職員・研究者が関与した論文であることとする。
 2. 筆頭著者は以下のとおりとする。
 - 1) 本学看護学科または本学医学部附属病院看護部に在籍する教職員
 - 2) 本学大学院医学系研究科看護学専攻の院生もしくは修了後の者
 - 3) その他、委員会が論文投稿を依頼した者、委員会が適当と認めた者
- V 掲載の決定
- 原稿の種類と投稿論文の採否は、査読者の意見を参考にして委員会が決定する。査読者は2名とし、委員会が依頼した者が当たる。査読は、再査読までとする。原著論文の査読者1名は、外部の研究者に依頼する。
- 本誌に掲載された論文の全ての著作権（著作権法第27条及び28条に規定する権利を含む）は、滋賀医科大学に帰属する。
- VI 執筆要領
1. 原稿提出時：投稿原稿は、ホームページに掲載されているMicrosoft Word用のテンプレートを使用した電子ファイルとして、編集委員会宛に原則としてメール添付で提出する。

編集委員長は、受付年月日を記した原稿受領メールを投稿者に返送する。編集委員会のメールアドレスは、jn_sums@belle.shiga-med.ac.jp である。

ファイルサイズの都合などでメール添付が困難な場合はフロッピーディスク、CD、USB メモリーなどの媒体に記録して提出してもよい。

投稿論文枚数は原則として以下の通りとする。

原著論文：6 枚以内。総説、研究報告、実践報告、その他：4 枚以内。

2. 原稿提出時には、ホームページに掲載されている投稿申込書に必要事項を記入し、添付すること。
3. 原稿は原則として次の順序でまとめる。
 - 1) 表題
 - 2) 和文抄録：400 字程度
 - 3) キーワード：5 語句以内
 - 4) 緒言、はじめに
 - 5) 本論
 - 6) 結語、まとめ
 - 7) 引用文献
 - 8) 原著論文の場合：英文タイトル、英文著者名、英文所属名、英文抄録（250 語程度）を文末につける。
 - 9) 英文キーワード：5 単語以内
 - 10) 図表：図表および写真は必要最低限とし、図 1、表 1、写真 1 などの簡潔な表題をつける。
4. 謝辞をつける場合は、査読段階では別ページにまとめる。
5. 文字と表記については以下の通りとする。
 - 1) 外来語はカタカナで、外国人名や適当な日本語訳がない言葉は原則として活字体の原綴りで書く。
 - 2) 略語は初出時に正式用語で書く。
6. 英文抄録は、原稿提出前にできるだけ専門家（ネイティブスピーカーが望ましい）による英文校正を受けることとする。
7. 英文論文の構成は和文に準じ、ネイティブスピーカーによる英文校閲証明書を添付することとする。

VII 引用文献の書き方

文献は、本文中の引用順に該当箇所の右肩に¹⁾、²⁾と上付で番号を付し、本文最後の文献欄に引用順に一括して記載する。なお、著者名はすべて記載する。

例：【雑誌の場合】

- 1) 滋賀太郎，瀬田花子：高齢者のストレスの特徴とメンタルケア．日本老人看護学会雑誌，8（3），55-61，2003.
- 2) Riggio R. E., Tucker J. : Social skills and deception ability. Personality and Social Psychology Bulletin, 13, 568-577, 1987.

【書籍の場合】

- 3) 滋賀太郎：臨床看護学ハンドブック．23-52，朝日書店，大阪，1995.

【編集者の場合】

- 4) 大津浜子：非言語コミュニケーションを用いた看護。滋賀太郎，瀬田花子（編）：臨床看護技術 II，111-126，日本看護技術学会出版，東京，1998.
- 5) Otsu H.：An approach to the study of pressure sore. In Suzuki Y., Seta H. (Eds)：Clinical Nursing Intervention, 236-265, Nihon Academic Press. New York, 1966.

【電子文献の場合】

- 6) ABC 看護学会：ABC 看護学会投稿マニュアル。2003-01-23（入手日）
<http://www.abc.org/journal/manual.html>

VIII 最終の製版原稿の提出方法

1. 査読者および編集委員会の指摘点を検討して修正し、所定のテンプレートにしたがって製版した論文原稿の電子ファイルをプリントアウトしたものととも編集委員会に提出する。原則として、和文フォントは明朝、英文フォントは Times New Roman を使用し、マージンの変更は行わないこととする。電子ファイルは初回投稿と同様に原則としてメールに添付するものとする。
2. ホームページに掲載されている著作権譲渡同意書に共著者全員の署名押印したものをあわせて提出する。
3. 原稿の提出先ならびに問い合わせ先
滋賀医科大学医学部 看護学科事務室気付
「滋賀医科大学看護学ジャーナル」紀要編集委員会委員長
E-mail: jn_sums@belle.shiga-med.ac.jp
Tel : 077-548-2455

IX 掲載料

論文の掲載料は不要である。また、紀要編集委員会では別刷りを作成しない。